

協 全宗 ぜんしゅりきょり

2011
3月
March

通巻67号

大詰め公正競争規約実現化

活路開拓調査・実現化プロジェクト成果発表

業界の再生と発展に向けて新ビジョンを展開

平成22年度第2回全国研修会が2月1日（火）東京のホテルラングウッドにて開催され、全国各地から組合員87名が参集した。今回の研修会では、平成22年度全国中小企業団体中央会補助事業である「活路開拓調査・実現化プロジェクト」の成果発表とそれを含んだ普及講習会を中心に、これからの業界の指針となる公正競争規約実現に向けた取り組みについて発表された。

西春専務理事の総合司会のもと、小堀理事長が開会の挨拶。「全宗協は、様々な事業に取り組んでいるが、活路開拓調査はもろろんのこと、公正競争規約という、業界でひとつの共通のルールを作ろうとしている。それによって公正な競争ができ、業界も発展することができる。公正競争規約実現に向けて、業界で一丸



業界の今後は…? パネラーから解決軸が提案された



開会の挨拶をする小堀理事長

を受け止め、さらに国民生活センター寄せられた1、422件の相談内容も真摯に受け取るべきである」と厳しい業界環境を再確認することを指摘した。また、業界再生に

日本のある行事には、送る行事と迎える行事の二つがあり、今まで日本人は送る行事（葬儀や法事）を大事にしてきた。最近では行事の欧米化により、迎える行事（誕生日・創立記念日など）が増えている。そうした傾向を踏まえ、広報委員会は迎える行事として花まつり啓発事業を位置づけた。その二つとして東映の映画ブツダと連携するなど、迎える行事の啓発を今後考えていきたい。

【目次】	
P1~P2	研修会
P3	公正競争規約
P4	花まつり啓発事業
P5	インタビュー
P6	ひろば・NL交差点・事務局からのお知らせ

量的拡大から質的向上へ
新しいつながりの再構築

次に活路開拓事業特別委員会座長である東海大学講師の角田知義氏により、活路開拓調査・実現化プロジェクトの統括報告があり、「アンケートの結果から、物を買うだけでなく、物に付随した情報をお客様とどのように共有できるかが重要だと判った。これからは情報の『運用力』が今後のビジネスを支える。報告書の中から、お客様との新しい接点やつながりを見出し出して欲しい」と語った。

続いて池田活路開拓事業特別委員会委員長がプロジェクトを使って本事業のビジョンを具体的に説明。「はじめに少子化・単独世帯の増加などにより、業界は縮小傾向にあること

1 国民の仏壇・宗教への関心を高める対策

木本 広報委員会委員長

日本のある行事には、送る行事と迎える行事の二つがあり、今まで日本人は送る行事（葬儀や法事）を大事にしてきた。最近では行事の欧米化により、迎える行事（誕生日・創立記念日など）が増えている。そうした傾向を踏まえ、広報委員会は迎える行事として花まつり啓発事業を位置づけた。その二つとして東映の映画ブツダと連携するなど、迎える行事の啓発を今後考えていきたい。

となつて取り組んで行きたいと思う」と決意を表明した。

角田知義氏を進行役に、研修会のメインとなる再生プロジェクトのパネルディスカッションが行なわれ、初めに小堀理事長から、「アンケートは7,200社余りに発送し回収した。こんな大規模なアンケートは初めてであり、今後業界の発展のためにも結果を活かしたい。これから、報告書を活かして、皆さんががんばりましょう」と会員を激励した。

2 ライフスタイル変化への対応

宗教工芸社社長 住田孝太郎氏

お仏壇が売れるのは、人が亡くなった時が大半だが、受験や結婚など人生の節目、たとえば厄年にお仏壇を買うという発想をすすめるのはどうだろうか。意外と私たちが見逃しているのが、日本の宗教土壌に与えているキリスト教の影響である。お葬式に行く、弔辞で「天国で私たちを見守ってください」と

業界の今後を担う
4つのビジョン

向けて、今後市場の拡大を求めるのではなく、製品・サービスの質の向上を図り、お客様の声に耳を傾ける「傾聴」の姿勢が大切であり、お客様のお話を伺うという姿勢をベースとして再構築することがこのプロジェクトの目標であることを示した。



全国から集まった大勢の組合員で会場は埋め尽くされた



本事業のビジョンをプロジェクターを使って説明する
池田活路開拓事業特別委員会委員長

言う挨拶を聞くことがあがるが、宗教的空白が広がる都市部においては、現代の日本人の宗教観に合わせた仏壇を提供することも大切で、一人でも多くの方に仏壇を祀ってもらうようにすることが今後の課題だろう。

3 秩序ある販売ルールの確立

吉田 総務委員会委員長

1990年のピークから景気が悪くなつており、今はブロードキャストから、ブロードスキャンの時代になっている。消費者目線にあった、公正な商取引がますます必要になってきているが、我々の業界はそれが確立されていないため、消費者センターやJ.A.R.Oなどに仏壇販売の苦情が多い。質的な向上を図り、プライドを持った商品の販売が必要である。量的拡大ではなく、質的な向上に向けて進むために公正競争規約による公正な取引の実現こそがそのスタートになる。

4 業界に求められる経営近代化対策

鎌倉新書社長 清水 裕孝氏

仏壇専門店は、ソフト面からの販促をお客様に伝えることが最も大事である。家族が亡くなった人は、本尊ではなく位牌とか亡くなった家族に向いている。私たちは、未だに信仰を前提としたメッセージを伝えている。お客様の心の中を理解して、広告などを通してメッセージを伝えることが大切でないか。

現場で求められる

「傾聴」と「心の安らぎ」

前田N.L部長から現場の声として、仏壇の販売はスペックから傾聴による販売に変化しており、心を形にするためには傾聴はさけて通れない。お客様に対しては予算や寸法・材質などスペックや好みだけでは販売はできない。偽ぶ心がどれくらい大きく、どのような形でのよう色にするか。その人の人生の環境を知ることが大切。無駄に聞かせる話の中から、その方の本当の気持ちやきちんとして理解して、提案したものとその方の気持ちが合致すると、予算に関係なく購入し喜んでもらえる。信頼を得るためには、お客様の生きてきた環境を知ることが必要と語った。

さらに、業界を再生していくために、業界がものを売ることで中心からプロデュース能力に視点が移ってきている点に注目。木本広報委員長は以前はスペックが価値だったが、お客様が仏壇店に求めているのは、お客様の「お手伝いをしてください」「教えてください」という言葉にならない言葉を取り戻さなければいけないと提言した。続けて、ブランド力について、吉田総務委員会委員長は、プロデュース力も大切だが、量的拡大から質的向上へと、プロデュースだけでなく商品そ

もののプロダクトを高めていくことも大切である。その2つが重なっていくことで、ブランド力がついてくる。手を合わせるにふさわしい商品力、製品そのものの力とプロデュース力の共存が重要であり、それぞれが生かされる事で初めてブランドに付加価値が生れてくると語った。

次に、住田社長は最近のお仏壇の祀り方を危惧。きちっとした荘厳をしていない方も多くと忠告した。地方の習慣にもスタンダードが必要で、お祀りの習慣をきちっと伝えなければならぬ。仏壇製造販売においては公正競争規約も大きな基準であるが、個々の宗教的な習慣も一緒に伝えていかなければいけない。どの宗派の経典にも仏壇を祀れと書いていない。そういった学問が進んでいない。仏教と仏壇の結びつきを明確にする経典の読み方を業界あげて



全国中小企業団体中央会振興部
宏運副参事 田上宏



公正競争規約を実施して、新しい売り方を業界としてやっていく上で、消費者から信頼される基盤は絶対必要です。今の法律でも、虚偽の表示とか不当表示をすれば、措置命令が受けられるが、実際には、産地や材質の表示の基準がないので、なかなか法律的な処理がしにくい。今後、準備委員会の発起人を決めて、規約の内容を検討するため、3月に発起人委員会が出来て、いろいろな共通の案が出来る予定です。経済産業省の中

「公正競争規約実現に向けて 業界一丸となって取り組んでいきたい」

経済産業省 製造産業局日用品室 室長補佐 浅井 亨氏 挨拶

に仏壇に関する、特に表示に関する研究会を設けました。消費者代表、消費経済審議会の委員の方などに来ていただいて審議し、4月頃までに検討していきたい。4月末には、有識者による標準基準ができるのではないかと考えています。連休前に消費者庁に、認定を申請できるようにしたい。そのためにもそれまでに皆さんの了解や合意が得られるといいなと思っています。経済産業省としても、かなり力を入れてやっていますつもりです。消費者庁が出来たこともあって、消費者の目線とか消費者中心という時代です。販売ルールの公正化について業界一丸となつて取り組んでいきたいと思っています。

伝えなければいけないと指摘した。最後に小堀委員長より、公正競争規約は統一基準を作ろうとしており、製品のスペックだけである。お仏壇を祀ることは宗教・信仰と大上段に構えるが、よりよく生きる生活習慣であった。お仏壇は、生活習慣を高め、日本人は礼節正しいと言われてきた。今一度、お仏壇の役割を原点に戻って考えて欲しいと締めくくった。

業界の再生と発展に期待

本プロジェクトを補助事業として応援していただいた、全国中小企業団体中央会振興部田上宏運副参事より、本日の報告をもって平成22年度全国中小企業団体中央会補助金事業活路開拓調査・実現化プロジェクトは終了するが、この成果を活かすかどうか、今後報告書をもとにいかにか活用して行くがポイントである。この報告書を活用していただき、業界の発展に結びついてもらいたいと、業界の再生と発展に期待を寄せた。



正常化委員長
森 正

全宗協の皆様方には、この度の仏壇公正取引協議会設立に向けた準備委員会へのご登録はもとより、地方説明会では多大なご支援を賜り誠に有難うございました。

おかげをもちまして、昨年9月9日に開催しました東京説明会をはじめ、名古屋、大阪、広島、福岡、仙台の全国6

会場の説明会には873名もの方々にご参集いただき、仏壇公正競争規約への関心の高まりを実感いたしました。

現在、準備委員会への登録者数は836社に及び（1/25現在）、認可基準である売上高が過半数を超えることはほぼ確実な情勢になってきております。今後は、公正競争規約案の策定並びに公正取引協議会の設立に向かって、速やかに計画を進めていかなければなりません。

「本年は仏壇産業・公正化元年」

これからの予定としましては、

○3月上旬に第1回目の発起人会を開催

○4月中に公正競争規約案を策定

○5月には消費者庁に認定申請を出す

計画です。消費者庁では、本規約案の提出を受けて公聴会などにより審査を経たのちに、認可が下りる見込みです。通常、公正競争規約が認定されると官報に告示されますが、「景品表示法・第11条」に基づいた正式な法律として成立します。

規約が成立すれば、公正取引協議会に参加する

企業は品質表示や産地表示に対して規定の表示をする義務が生じます（表示はメーカーがします）。

しかし、通例では規約成立後1年間ぐらいの施行猶予期間を置くことが多いので、実際に表示義務が生じてくるのは来年になると思われる。

説明会では、表示に対して「昔仕入れた古い商品はどうなるのか？」といった質問が重複してありましたが、店頭での表示義務は全ての仏壇に課せられますので、猶予期間に販売するなり、仕入先で品質や産地を調べて表示の準備をしていただ

く必要があります。また、「協議会に参加しなければ、表示義務はないのではないか？」という質問に対しては、「協議会に不参加の企業でも、何かトラブルがあった場合は本規約に基づいて裁判されることになるので、入会しておいたほうが良い」とのことです。

さらに、協議会設立後は会員の方々に「公正取引・会員の証」を作成し配布する予定です。「証」を店頭に掲示して消費者への信頼を高めていただければと考えています。

なお、「仏壇公正競争規約案」、「表示案」とその「解説」、これまでの「O&A」につきましては、全宗協HPの「公正取引準備委員会ブログ」をご覧いただけますと詳細が掲載されていますので、是非ご一読いただければと存じます。

最後に、この度の仏壇公正競争規約については、その必要性をめぐって依然賛否両論があるようですが、時代の趨勢から判断して『消費者の立場に立った業界』へと転換できなければ、生き残っていくのは難しくなるでしょう。協議会設立を期に、仏壇業界の公正化を図って『消費者から信頼される業界』を再構築することが、次代への大切な橋渡しになると思います。引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本年度をふりかえりながら

わたくしたち広報委員会は当初、本年度の事業を、「花まつり」と決め次年度は今年度の事業経過と反省を踏まえ、もう二年継続させようとの方針で、スタート致しました。が、先年より賛助会員としてお付き合いのあった全日本仏教会(全日仏)も花まつりを通して親子、家族の絆を考えておられ、また、最近の状況に危機感を持つ葬祭業協同連合会、冠婚葬祭互助会、石材産業協会のみなさんと話し合いの場を持つことができたのも本年度の大きな収穫であったと思います。

一部3月1日からスタートする花まつりは全日仏との共催、東映ブッダは全宗協は推薦団体、他団体は協力団体となっています。

私たちの役目は、ほとけの世界を明るく皆さんにおみせすることとおもいます。どうかそれぞれのみなさんの産地の様子にかんがみ、その様子を事務局までメールくださいますようお願いいたします。

4月8日は
おしゃかさまの誕生日

すべてのいのちは、美しい。

吉永小百合 堺雅人 駿世清和 吉岡秀隆
手塚治虫の
ブッダ
— 赤い砂漠よ! 美しく —
5月28日(土) 全国ロードショー

私たちは、花まつりを推進し、映画「手塚治虫のブッダ」を応援します。

(財)全日本仏教会 (社)日本仏教教育協会 全日本宗教用具協同組合
全日本葬祭業協同組合 (社)全日本冠婚葬祭互助協会 (社)日本石材産業協会

4月8日

花まつり

啓発事業

広報委員会



特別展 手塚治虫の
ブッダ展
東京国立博物館
4月26日(火) - 6月26日(日)
映画公開に先駆け開催

BUDDHA: The Story in Manga and Art

かたくして、
フグ誕生!

仏像と漫画、
トーハクで
まさかの共演!
手塚治虫の
ブッダ展

東京国立博物館
4月26日(火) - 6月26日(日)

二千五百年前、インド。
地上のあらゆる生き物から
誕生を祝福された男がいた。

手塚治虫の
ブッダ
— 赤い砂漠よ! 美しく —

吉永小百合 堺雅人 駿世清和 吉岡秀隆

5月28日(土) 全国ロードショー

いよいよ 5月28日 全国でロードショー!!

「手塚治虫のブッダ―赤い砂漠よ! 美しく―」

東映 岡田社長に単独インタビュー!



▲現代に通じる人間像を感じて欲しいと熱く語る岡田社長

平成22年度花まつり啓発事業との連携で注目されている、東映系映画手塚治虫原作「手塚治虫のブッダ―赤い砂漠よ! 美しく―」が、いよいよ5月28日(土)より全国で公開される。それに先立ち、東映の岡田社長に映画にかける熱い想いと、初めてタッグを組む私たち全宗協にかける期待をお聞きしました。

まず、本作品の製作に至った動機をお聞かせください。

一つは、2001年世界遺産として登録されていたバーミヤンの石仏が破壊された時のことです。あの世界遺産の破壊を受けて何か紛争にでも発展するのかもしれないが、その心配すらなかった、どうして仏教徒は対抗せず平静を保っていられたのか、と考えた時、仏教の歴史的背景に興味を持ったんですね。そこで、以前手塚作品を読んだことがあったなど、手塚先生のブッダに再会したのです。手塚先生の作品は、漫画といってもほとんどが映画っぽい作りで、映像にしやすい動きがあるんですね。原作そのままのテイストを重んじて、ストレートにそのままやらせてもらうのが一番かなと思いました。実写も考え

たのですが、主人公を誰がやるのかという検討の結果、アニメーションの無国籍性を重視して、アニメで行こうということになりました。

今回の作品は、実写のスタッフが多く携わっているの、実写とアニメの両方のテイストが含まれた映画になっていると思います。

本作品を通してアピールされたいものは何でしょうか。

映画を観て、ブッダの全てをわかってもらおうという訳ではありません。映画を観ることで興味をもってもらい、ブッダの入門編として触れてもらうことです。

先ほどのバーミヤンの事件は、私の心の根底に大きくあり、そういう理不尽なことが昔も同じように行なわれていたんですね。この作品では、戦乱期を描くことで、現代に通じる人間像を皆さんに感じていただきたいと思ったわけです。

「空海」公開時にも真言宗との連携を図り、成果をあげられたと伺っておりますが、今回も、全日本仏教会及び私共全日本宗教用具協同組合との様々な取り組みにつきまして、「希望」ご意見がございましたらお聞かせください。

全ての仏教は、ブッダの教えを元に、その解釈の違いで分かれてきていると理解しています。手塚先生の描くブッダは、超能力があったわけではなくて、普通の人だったんです。そういうブッダの人となりに触れて、勉強したり物語を楽しんでもらい、出来れば仏教に興味を持って欲しい。仏教などに興味のない人にも、ブッダの偉大な人格形成に至るまでの過程を想像して理解していただくために、そのきっかけ作りを、宗派を超えて仏教界全体および皆さん(全宗協)と共に推進して応援していただきたいと思えます。

最後に、本作品の見所についてお聞かせください。

3DやCGがアメリカで優勢を極めてきている中

で、日本独自のアニメがこんなにまで発達し、世界で市民権を得てきているのは、日本のアニメが非常に緻密な2D(二次元)だからです。日本のアニメは宮崎駿先生はじめ、3DCGアニメとは一線を画す価値があり、そういう日本の存在価値のあるアニメを観ていただきたいですね。

東京国立博物館で4/26から6/26まで映画とコラボした特別展が開かれます。本作品はいろいろな企画やタイアップが進んでいますが、その点についてお聞かせください。

東京国立博物館でアニメの特別展というのは、以前では考えられなかったことですね。アニメそのものの文化的価値が上がって、二つの文化として市民権を得てきたからだと思います。我々も、ぜひ成功させたいです。

同時期に、東京タワー特別会場では、3/31〜4/17まで「ブッダの素顔展」という展示会を開催し、古今東西の人々が描いた仏画・仏像を紹介しながら、日本の四大アーティストが描くブッダの絵を展示いたします。素晴らしい絵画を描いてくださっていますので、楽しみにしててください。

また、4月8日の花まつりを記念して、3月30日より、東京タワーを、蓮をイメージしたロータス・イルミネーションにライトアップいたします。今後、4月8日の花祭りをロータスデー・しあわせの日として、クリスマスをこえるような大きなイベントにしていけないものかと思っています。その一貫として、いろいろなイベント・企画商品をいろいろな企業の方々と組んで、ロータスティーの販売、ロータスのお菓子の販売などを全国展開することになっていますが、こうしてお祭り風のもので行って行くことが大事だと思います。

映画の宣伝だけでなく、仏教国のひとつである日本から、花まつりをきっかけとして生きる仏教をアピールしていくことが必要だと思います。

ありがとうございました。

ひろば
COMMUNICATION
COLUMN

これからの全宗協

活路開拓事業特別委員会委員長・副理事長
池田 典明



平成22年3月、経済産業省・消費者庁のデータベース（パイオ・ネット）に仏壇販売に関する消費者からの苦情がアップされ、併せて、(社)日本広告審査機構（JARO）からも仏壇の品質・広告内容に関する相談が数多く寄せられているとの報告を受けました。そこで、全日本宗教用具協同組合（全宗協）と全国伝統的工芸品仏壇仏具連合会（全仏連）では、仏壇販売における問題点の解決と公正化に向けて、公正競争規約を制定すべく、仏壇公正取引協議会設立に向けて始動する運びとなりました。またそうした動きと呼応して、同年8月、中小企業団体中央会による補助事業のもと、今後の宗教用具業界の活路を見出すための「活路開拓調査・実現化プロジェクト」が発足いたしました。そして本年2月1日（火）東京都にて全宗協、平成22年度第2回研修会として全巻100ページからなる報告書が提案されました。その内容としては 業界環境の再確認 現状把握と問題点の整理 業界再生に向けての基本方針の仮説を提示 最後に4つの基本テーマを、設けての解決軸の提示を提案しています。

そして全宗協理事・役員会にて事業委員会より全宗協と全仏連が力を合わせて仏壇・仏具の展示会を開催する事業提案がなされました。私たちを、取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、この事業をきっかけに両者が、力を合わせていくことで、これからの宗教用具を取り扱う業界にとっては、大きな一歩だと考えます。

報告書が私たちの道標（ロードマップ）なら、この共同展示会は、開かずの門を、あける事ではないでしょうか、全宗協会員の皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ニューリーダー
交差点 NL



ニューリーダー部副部長 広川 俊輔

ニューリーダー部副部長として活動させて頂いております。副部長と言っても、前田部長を初め他の役員、部員の方々に支えられている次第です。

お陰さまで発足以来3年が過ぎ、メンバーも60名をこえるまでになりました。現在はニューリーダー部独自の活動を行う中、先の京都での全国研修会でのお手伝いなども行い、日々交流、研鑽の輪を広げております。23年度もまた新たな活動を始めようと計画中です。今私たち仏壇業界は、公正競争規約への取り組みなど大きな変革の時を迎えています。

この変化の過程をニューリーダー部の部員として立ち会えることは私自身の将来に於いても大いに有意義なことだと感じています。微力ながらも携わることが出来るよう頑張りたいと思います。

私のような地方の小さな仏壇店が、全国の仲間たち（今では“同志”です）と交流し、意見を交わし合い、語り合うことが出来るのもニューリーダー部に入部したからこそなのだと思います。部員の方たちとの交流を通し知識はもちろんのこと、見聞、見識を広める事が出来、個人的にも成長する事が出来ました。今後もお互い切磋琢磨し、よりよい未来のため、業界の発展のためお手伝いできればと思っております。

先に述べましたが、ニューリーダー部は発足してまだ3年です。ここまで順調に來たように見えますが歴史も浅く、まだまだ部員数も多いとは言えません。親組合の皆様には、今後ともお力添えを頂き、尚且つ温かい目でこれからのニューリーダー部を見守って頂ければと思います。

それと随時新しい部員を募集しています。必ずプラスになります。今後ともよろしくお願いいたします。

事務局からのお知らせ

1. 当面のスケジュール
 - (1) 平成23年4月20日（水）委員会と役員会
（於：国際フォーラム内 東天虹）
 - (2) 平成23年5月17日（火） 第24回広島総会
（於：ホテルグランヴィア広島）
2. 組合員数 平成23年3月1日現在 374名
・平成22年12月2日以降の新規加入者はありませんでした。
3. 組合関係者の計報（平成22年12月4日～平成23年3月1日）
[九州・沖縄地区]
（有）お仏壇乃むらた
村田真太郎様 ご尊母 村田登美子様（1月18日） 98歳
[阪奈兵和地区]
（株）福井佛具店
福井 正彦様 ご祖母 福井二三子様（2月5日） 103歳
[東海地区]
（有）三清本店
水野 清仁様 ご尊母 水野と志様（2月16日） 90歳
[北海道・東北地区]
（株）おのりん
小野 秀一様 ご尊父 小野一夫様（2月18日） 83歳
4. その他連絡事項 注文受付中です!!
 - ・小冊子再注文100冊単位で受付中
（100冊 5,000円、200冊 4,000円、300冊以上は、30円/冊で販売）
 - ・仏壇・仏具ガイダンス 組合価格 7,500円（税込）
 - ・お仏壇の日の幟追加注文 1枚 800円（税込）
 - ・父母恩重経 1冊 84円（税込）

仏壇公正取引協議会準備委員会 会員募集
未だ、新規登録を受け付けています!!
仏壇の製造・販売業を営む方で、未登録の組合員の皆様には、早めの登録をお願いします!!